

2021年3月11日

3.11 東日本大震災から10年 取締役社長 宮内一公のメッセージ

東日本大震災から丸10年が経過します。

前例のない国の手厚い支援により、復興は大きく前進していますが、被災者の心身のケアや住まいと町の復興、産業と生業の再生など、原子力災害被災地域を中心に、まだまだ多くの課題が残されています。

被災地の皆様には1日も早く、安心できる生活が取り戻されることを心よりお祈り申し上げますとともに、東日本大震災により亡くなられた方々に、改めて深く哀悼の意を表します。

当社は、「東北を基盤に 世界一の魅力あるコンパクト車をつくる」ことを目指す姿とし、東北の未来や笑顔につながることを信じ、地域の皆さんと一緒に進んでいきたいという想いで誕生しました。

本日、震災10年目という節目を迎えるにあたり、会社設立の原点に立ち返り、一人ひとりが、自覚と責任をもってそれぞれの仕事に取り組んでまいります。また、昨年12月に閉所した東富士工場で培ってきた「技能」、「想い」を東北へしっかりと受け継ぎ、「願いをともに」強く前へ進んでいきたいと思えます。

自動車産業を支える550万人の一員として、地域に根を張り、共に成長・連携し、東北から日本の未来をつくっていききたいと考えています。

トヨタ自動車東日本株式会社
取締役社長

宮内一公